

# 第13回 高校生ものづくりコンテスト山形県大会電気工事部門

山形県立村山産業高等学校  
事務局 井上 毅

## 1. はじめに

高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部、山形職業能力開発促進センターを会場に6月17日（土）、18（日）の2日間に渡って実施されました。8校より13名の参加がありました。

大会運営にあたりましては、昨年度の事務局である山形電波高等学校のご協力のもと大会を行うことが出来ました。昨年度に続き作業板を東北電化工業株式会社様より上級シナベニアを人数分提供して頂き、作業環境が整った中、大会を行うことが出来ました



写真1 大会会場の様子

## 2. 競技

本大会では、これまでと同様に全国大会の課題を採用し、山形県大会競技規則を設けて県大会を行いました。



写真2 優勝者 山崎和真さんの作業

課題は第一種電気工事士の技能試験内容を元に構成され、2時間10分の競技時間で行われました。このため今年度は新たに「配線用遮断器及びスイッチは「切」の状態、3路スイッチ（イ）は「手動」の状態としていること。」の文章に見られるように配線用遮断器の投入時に回路が動作しない状態であることに加え、接続が想定された自動回路が初期動作しない状態であることが求められました。

## 4. 大会結果

大会結果を表1に示します。年を追う毎に難易度を増す課題ですが、上位を競う選手は計時を見ながらぎりぎりまで調整を念入りに行い、5名の選手が競技時間内に、競技終了までには2名の選手が作業完了することができました。それでもなお作業終了要件を満たさなかったために、作業完了したにもかかわらず入賞の対象外となる生徒が見られたことは、選手はもちろん大会運営側としてもこれまでの生徒の練習成果が結果に現れなかったことは大変残念なことであります。

## 3. おわりに

最後になりますが、材料提供を頂きました山形県電気工事工業組合様をはじめ、審査委員長の山形県電気工事高等職業訓練校、作業板・材料提供ならびに審査委員の派遣のご支援を頂いた東北電化工業株式会社様、審査委員の派遣をいただきました株式会社ユアテック様に感謝申し上げます。また、大会を盛り上げてくれた選手ならびに指導に当たられた先生方のご協力をいただきましたことを重ねて感謝申し上げます。

順位	学校名 学年 学科	氏名
1	山形工業高等学校 3年 電子システム科	山崎 和真
2	新庄神室産業高等学校 2年 機械電気科	竹村 直進
3	酒田光陵高等学校 3年 エネルギー技術科	宮崎 愛珠

表1 大会結果